

Murray State University

## マレー州立大学

## 所在地

102 Curris Center, Murray, KY 42071, U.S.A.  
ホームページ: <http://www.murraystate.edu/>

経済学部: 語学留学(英)/専門留学  
外国語学部: 語学留学(英)

## 沿革

1922年に創立されたマレー州立大学(MSU)は人口2万人のケンタッキー州マレー市に位置し、世界60ヶ国から集まった約775人の海外留学生を含むおよそ1万人の学生が学んでいる。学士課程には155の学科があり、経営学、看護学、動物健康管理学、農学、健康科学・環境学の人気が高い。MSUは南部諸州の大学ランキングでトップ10にランクしている。

## 特色

- ①語学留学(ESL)、②語学留学+学部/専門留学、③学部/専門留学 ※授業料免除は1名。
  1. 授業料免除での学部/専門留学の場合: 渡航前にiBT61以上を取得。ただしiBT61~70の場合は、ESLの科目、English 109及びEnglish 110を専門科目に加えて必ず履修すること。
  2. 語学+授業料免除で学部/専門留学の場合: 12月までにTOEFL475を取得(一旦日本へ帰国してビザ取得が必要)。
  3. 語学+授業料を払って学部/専門留学の場合: 12月までにTOEFL475を取得。
  4. 語学の場合: 語学留学中にTOEFL475に満たなかった場合は、3月まで語学留学を継続して帰国。
- 英語研修課程(ESL)は6つの英語能力別クラス編成で、TOEFL対策講座など学部入学を目標とするきめ細かな指導が定評。

## 宿泊

学生寮(2人部屋)。

## 生活

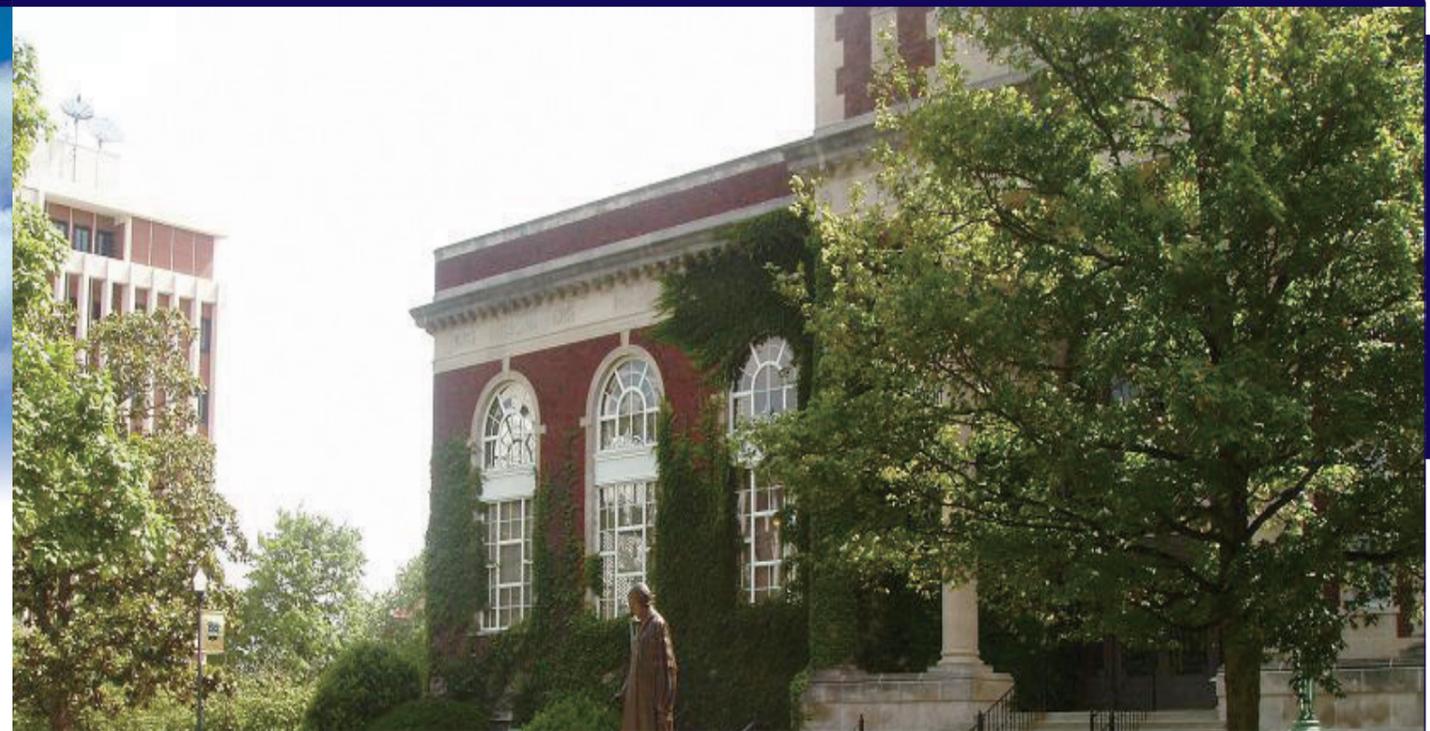
MSUのあるマレー市の犯罪発生率は非常に低く、大学のキャンパスは全米で最も安全なキャンパスと言われる。町ゆく人々も親切で、家族、宗教、友情を重んじる南部特有の風土が特徴である。

## 条件

- 両学部: 授業料免除での学部/専門留学はTOEFL iBT61点(TOEFL ITP 500相当)以上。
- 経済学部: TOEFL (ITP) 400点以上(語学留学)。
- 外国語学部: 英語2専攻、IEC専攻はTOEFL(ITP)450点以上、その他の専攻は各専攻で相談(語学留学)。

## 留学時期

2年次または3年次の第2学期から4ヶ月、7ヶ月または10ヶ月。



## 四ヶ月の留学生活

経済学部経営学科 2016年留学 近藤 精人

アメリカでの四か月は本当にあっという間に終わりました。最初は緊張や不安、楽しみなどでいっぱいでしたが終わるころには楽しさと別れる悲しみでいっぱいでした。

最初の一か月は手続きやオリエンテーションなど覚えることがたくさんあり、慣れるので精一杯でした。初めてのルームメイトともそこで会い、一番ストレスを感じる日々が多かった月だったと思います。最初は授業やオリエンテーションなどよりも大学の規模に圧倒されていました。またこのようにところで勉強できるという嬉しさもあったと思います。とにかく八月は忙しくあっという間に終わってしまったというのが印象にあります。

対照的に九月は比較的余裕が出てきたのかストレスを感じることは少なくなってきました。授業のことや大学の施設のこと、様々な手続きなどが落ち着いていきました。クラスメイトとの仲も徐々に良くなり会話が増えてきます。私のクラスは台湾人2人、日本人1人(自分のみ)、残りの15人が韓国人というものでした。最初こそ同じ国籍の人が一人もクラスにおらず不安はあったものの、クラスメイトが積極的に話しかけてくれたので授業はだんだん楽しいものになっていきました。授業はほとんど参加型で普段はあまり発言しない私ですがこの時は積極的に発言することができました。また、間違えたとしても先生や学生同士が意見し合い、ここはこうだから違うという具体的なことを言い合い恥ずかしげなど全く感じない授業でした。どんな些細なことでも質問していて、授業後も先生の所に駆け寄る学生が多くいました。このようなこともありしっかりと勉強に向き合うことができたと思います。

十月に入るとテストが近くなりどの学生もより一層集中していました。またテスト期間中は図書館が24時間開いており、とても学生に献身的で且つ学生も遅くまで残り図書館で寝る人すらいました。テストが終わると約半月分が休みになります。旅行に行く人も多く寮に残る人はとても少なかったです。私はしっかりと休養を取りジムに行ったり勉強をしたりと、どこにも行かなかったものの充実した休日を過ごすことができました。また十月はハロウィンで学校全体が盛り上がりしていました。様々な人が仮装して私たちも慣れてはなかったもののチャレンジしてみました。ESLでベストコストチューム賞を取ることができ複雑ながら嬉しかったです。

十一月に入ると大統領選がありました。私の周りの大多数の学生は政治に強い関心を持っており、大学のスクリーンを使いみんなで中継を見て討論する機会がありました。大統領選の日は休日となっていて国民全体が選

挙について関心を持っているように感じました。このようなこともいい経験になったと思っています。

十二月はあっという間に過ぎていきました。テストも近づいており帰国日はすぐきました。意外と別れはあっさりしていましたが、本当にお世話になった人が多く環境に恵まれたことを痛感しています。ここで学んだことは非常に多く、英語だけではなく様々な文化や人柄など知りえることができ、少しは成長できたと思います。食や文化など多少の違いはありましたが私は全く気になりませんでした。学食や図書館などの設備がしっかりしており、いい意味で違う文化をしっかりと受け止めることができました。このような体験をすることができ、またここまでこられたのは、親をはじめたくさんの人の協力があったからだと思っています。関わっていただいたみなさんに心からお礼が言いたい。ありがとうございました。